

# 市政おおの

55. 12. 1  
No. 326

## “つぐら”を作る

“つぐら”は越冬野菜の貯蔵庫として、昔から各農家で作られてきました。ダイコン・ニンジン・ゴボウ・白菜・キャベツなどが入れられ中の温度は暖かいので、雪が降ってもしみることはありません。

ワラの束を巧みに組み合わせなが

ら輪を作り、8段くらいに積み重ねます。

およそ直径1尺、深さ1.2尺の円筒形で、慣れた人なら約3時間で出来上がります。

つぐら作り30年余りのベテラン、六呂師の中村明さん（55歳）は「最

近はコンバインで刈り取りをするため、ワラが細かく切られてしまうので材料が少なくなりましてね。でも六呂師ではほとんどの家がワラを用意しておき、つぐらを作って新鮮な野菜を保存していますよ。」と、ワラ束を締め上げながら話しています。

将来は上水道に統合

中保に簡易水道

完成は来年三月

中保区では近年井戸枯れが目立ち簡易水道の建設が望まれていましたが、市営簡易水道として11月15日から工事が始まりました。

工事の規模は今後10年間を見通して、60戸の家庭 270人を対象にしています。

長期間の使用に耐えられるように最新の工法を用いており、総工事費は約5,560万円です。

水源は、区内東側に約71㍍の深井戸を掘って設け、1日当たりの最大給水量は54㍍。平均40.5㍍の地下水をくみ上げます。

配水本管の総延長は2,328㍍ありまた、18カ所に万一に備えて消火せ



急ピッチで進む深井戸掘り工事

んを設置することになっています。

しばらくの間、交通規制や騒音でご迷惑をおかけしますがご協力願います。

完成は来年3月の予定で、これからは井戸枯れや防火用水の心配がなくなり、良質の水が得られることになります。

運営は上水道と同じ方法で行い、1カ月10㍍までの基本料金は1,500円です。10㍍を超え20㍍までは1㍍当たり165円、20㍍を超え30㍍までは210円が加算されます。

将来は上水道に一本化

市は昭和65年を目標にした「上水道計画」を進めています。

市街地はもちろん、下庄・乾側・小山・上庄・富田の全域を上水道地域に含めて一本化する計画で、農村部で既に簡易水道や小規模飲料水供給施設が造られている地区も、上水道に含まれることになります。

従って、中保の簡易水道も、将来は上水道に統合されます。

柿ヶ島・塚原・菖蒲池に

集落センターがお目見え

市は農村の生産・生活環境の整備充実を進めるため、ことしから新農業構造改善事業を取り入れています。その一環として、今年度は柿ヶ島

塚原・菖蒲池の3カ所に「集落センター」を建設。柿ヶ島・塚原についてはこの程完成しました。

このセンターは住民がこれからの農業について話し合う場としてはもちろん、食生活改善や健康増進にも

利用出来るなど、公民館的機能を持っています。

柿ヶ島は木造（一部鉄骨）平屋建て190平方㍍で、工事費1,810万円です。軽運動室や集会室・料理講習室などがあります。

塚原は木造2階建て延べ248平方㍍で、工事費2,477万円。1階には運動室兼ホールや料理講習室、2階には和室や大会議室などがあります。

菖蒲池の施設は木造2階建て延べ198平方㍍、2,055万円、年内に完成することになっています。

この集落センターは引き続き来年度以降も、蕨生・下富田をはじめ4カ所で建設する計画です。



完成した柿ヶ島の同センター

白魔に備えて

# 雪害対策まとまる

## 早朝除雪で道路確保

降雪シーズンを間近に控えた11月26日、市雪害対策協議会が市役所で開かれ、除雪をはじめ交通・労務・清掃・地下水などの総合的な雪害対策をまとめました。基本的な方針はほぼ例年どおりです。

道路の除雪には市土木課と大野土木事務所が当たり、国・県・市道とも積雪10～15センチで出動します。

順序は交通量や路線の特徴から、第1・2・3次路線に区分して、第1次路線から順次計画的に効率よく除雪します。

夜間に降雪がある場合は、早朝午前4時から作業を開始し、通勤・通学時に支障のないように努めます。

除雪の際に一番迷惑するのが路上

駐車や放置物件です。作業の妨げになりますので、絶対に路上駐車しないようお願いします。

また、除雪車が通るときは危険で

すから、なるべく外出しないか、出かける時は目立つ服装にしてください。

市はこの程、ショベルドーザー1台を約1,156万円で購入。今冬はグレーダー2台、除雪用トラック2台ドーザー2台の計6台で市道を確保します。既に全車点検を済ませ、出動に備えています。

交通対策では、大野警察署が主要



出動に備える新型ドーザー

道路を中心に一方通行や駐車禁止などの規制をするほか、スノータイヤやチェーンの不装着、違法駐車を取り締まりなどを強め、交通安全を図ります。

労務対策では、大野公共職業安定所(6-2408)が除雪労務者をあつせんします。希望者は同所へ2日前までに申し込んで下さい。

ことしの賃金(弁当・用具持参)は甲8,200円、乙(軽作業)6,600円で、昨年に比べて平均5%アップになりました。この金額はことしの屋根雪下ろし作業員協定賃金ですから、各家庭で依頼される場合はお守り下さい。

清掃対策では、昨冬どおり雪による影響がない限り、夏季と同じ曜日にごみを収集します。雪のために収集車が通れないときは、二車線通行の出来る指定場所までごみを持ち出すように願います。

また、地下水を守り井戸枯れを防ぐため、雪は川水で消すように心掛きましょう。

間もなく冬本番。雪害の少ない冬にするため、ぜひとも市民のみなさんのご協力をお願いします。

### スマイル

「不景気」

ソリが軽いな

—トナカイ

サンタ殿



### ③ 大野工業高校

若人たちに現代科学・技術を普及し、広く人材を開発するという使命をもって、この学校が創設されたのは昭和40年です。職員玄関を入ると「誠実・協調・創意」と書かれた額が目にとまります。

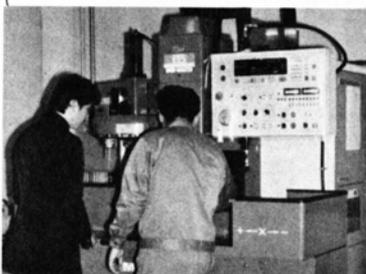
昨年からことしにかけて文部省と県の研究指定校として生徒指導の研究に取り組み、11月7日には多くの参会者のもとに研究発表会が開かれました。校内はもちろん

愛護センター、PTAなどの外部機関との密な関係によって着実な成果を上げました。

学校の自慢のひとつは、県立高校では初めてという機械科の数値制御フライス盤をはじめ、土木科の光波距離計や電気科の二元象オシロスコープ、放射能測定器など最新式器機の導入です。機械科実習室では放課後も教師の指導のもとに、指令テープの作成に熱心に取り組むグループがありました。

最近の厳しい就職情勢にもかかわらず、県内外の有名な企業に多数就職しており、国家公務員専門職の合格者も数名あるとのこと。卒業時には、卒業証書とともに電気工事士や測量士などの技術的資格を取らせているそうです。

校内にはスポーツとともに地域の人々の素朴な人間性を重んじる明るく温かいふん囲気が感じられました。(T生)



# さよなら'80



▲1月15日 ことしは560人(男325人、女235人)が大人の仲間入り。会場は若い熱気に満ちあふれました。

ことしは43年以來の豪雪や農作物に大きな被害を与えた冷夏などに見舞われ、大変厳しい年であったとも言えます。そうした中で有終南小学校舎の完成に続き、阪谷小学校舎、勤労青少年ホーム・下庄公民館・農村婦人の家・小山地域開発センター・義景保育園などの建設にとりかかりました。さらに、福田一衆議員議長のお国入りや、皇太子殿下ご夫妻のご視察など明るい話題の多い年でもありました。主な出来事を振り返ってみましょう。



▲2月6日 43年以來の豪雪に見舞われ、3年ぶりに雪害対策本部を設置。通勤・通学道路の確保のため午前3時から除雪に当たりました。



▲3月31日 冬期間の水枯れのため毎年引越しを繰り返していた「イトヨ」を守るため、本願清水に人工池を造りました。



▲4月1日 老朽化した衛生処理場を改築。新しく加圧浮上槽を設置し、処理行程を増やしました。



▲5月12日 市天然記念物の「大エノキ」は樹齢300年。これを守るため支柱を立てて固定しました。

1月 1日城北町・北大野・東中野町の3行政区が誕生 15日成人式 2月 6日3年ぶり雪害対策本部を設置 3月 24日市総合計画基本構想が決まる 31日本願清水に人工池が完成 4月 1日市史第2巻発刊 衛生処理場の改良工事終わる 25日七間線清滝川～富田大橋が開通 5月 12日市天然記念物「大エノキ」の回生手術を行う 6月 8日大野マラソン 22日衆参両院選挙 30日奥越史料第9号発刊

▶6月8日 恒例のマラソンも毎年参加者が増え、ことしはこれまでの最高の765人が参加。それぞれのコースを全員が完走しました。



# 写真でつづるこの1年



▲7月16日 51年から建設を進めてきた宝慶寺憩いの森が完成。早速、上庄小学校の5年生がキャンプを楽しみました。



▲8月13日 当市出身の福田一衆議院議員は7月17日、62代衆議院議長に就任。晴れてのお国入りには多数の市民が歓迎しました。



▲9月3日 ことしは学校や体育館・公民館などを相次いで建設していますが、義景保育園も移転することになり起工式が行われました。



▲10月9日 第4回全国育樹祭にご臨席のため福井県へお越しになられた皇太子殿下ご夫妻は、9日当市をお元気にご視察されました。

7月 1日基本計画をまとめる  
16日宝慶寺憩いの森オープン  
21日阪谷小学校舎着工 31日有終南小学校舎完成 勤労青少年ホーム・下庄公民館着工 8月  
1日土地利用アンケートまとめる 8～16日おおの城まつり  
13日福田一衆議院議長お国入り 25日尚徳中学校にナイター完成 28日農村婦人の家・小山地域開発センター着工 9月  
3日義景保育園舎着工 26日市名誉市民条例を制定 10月 9日皇太子殿下ご夫妻当市をご視察 17日広域農道真名川大橋が完成 26日市健康づくり大会  
11月 1～3日市総合文化祭 8～9日市農業祭 12月(予定)  
15～23日12月定例市議会



▲10月17日 広域農道の南新在家と下麻生島を結ぶ真名川大橋が完成。渡橋式には乳牛や農業機械なども参加しました。

来年も良い年になりまますように…



# 冬を演出致します

いよいよ師走。この月は1年のまとめの時期であり、また、新しい年を迎えるための準備の時期とも言えます。そして、本格的な冬が訪れます。今月は冬を演出するみなさんをご紹介します。



## スキー民宿

### お客は家族同様

西勝原 林 沙代子さん

スキーのシーズンを前にして、毎日フトンやストーブ・コタツなどの準備に追われています。

でも、最近では年末・年始にスキーが出来ない年が多くて、せっかく来ていただいたお客さんもガッカリされますね。

私の家ではお客さんも家族同様にしていただいていますので「親せきでもこんなに気軽に出来ない」なんてよく言われます。

食べ物では里芋や手打ちソバなどは喜ばれますし、つけ物なんかもおいしいと言われます。

帰られてから「また行きたい」なんてお便りをいただくと本当にうれしいものですね。



## 雪 囲 い

### わが子のような愛着

上荒井 稲田 進さん

庭木の手入れをするようになってから20年余りになります。

農業のかたわらですが春から秋にかけてはせん定作業を行い、11月中旬からは雪囲いにとりかかります。

普通の庭で2日くらい、大きな庭ですと4～5日はかかります。

雨が降ると仕事になりませんし、あまり数多くは出来ません。毎年手入れをする所はだいたい決まっています。20年も育てるとわが子のような気がして愛着がわきますし、雪がたくさん積ると枝が折れないように雪すかしをして守ってやります。

春になって雪囲いを取りはずした時、枝が1本も折れていないとホッとしますね。



## ケーキづくり

### 飾りに心を込めて

飯 降 宮本つや子さん

これから何と言ってもクリスマスケーキの季節です。ケーキはカステラの上と周りにクリームを塗って飾り付けをすれば出来上がりですが、クリームをヘラで均等に塗るのがとても難しいんです。

私も何回かやりましたがなかなか思うようにいきません。もっぱら最後の飾り付けを担当しています。

生ものですから何日も前から作っておくことも出来ませんし、これからは忙しくなります。

でも、お父さんやお母さんがいそいそと持ち帰られる姿や、待ちわびている子供たちのうれしそうな顔を思い浮かべると、忙しさなんか忘れて飾り付けにも心が込めます。



# お知らせ

## ◆明るい選挙推進大会

民主政治の基盤である選挙を、明るくきれいに行うための学習を深めようと、次のとおり明るい選挙推進大会が開かれます。

各区長・明るい選挙推進の家・推進協議会委員の方々の多数のご参加をお願いします。

〈日時〉12月11日(木) 午前10時  
〈場所〉市民会館

## ◆車いすの貸し出し

市では、一時的に車いすが必要な方に無料でお貸しします。

現在4台ありますので、お気軽に市福祉事務所(6-1111内線 274)までご連絡下さい。

## ◆はたちの声の論文募集

来年の新成人該当者(昭和35年4月2日~36年4月1日生)を対象に次のように「はたちの声」の論文を募集します。

テーマは「私の選んだ道」「現代社会に思う」「成人としての感想」など自由です。奮ってご応募下さい。

〈字数〉400字詰原稿用紙5枚以内

〈締め切り〉12月20日(土)

〈提出先〉市教委社会教育課(天神町1-1、6-1111内線405)または近くの公民館へ

〈表彰〉入選・佳作各3点を成人式の席上で表彰

## ◆特設人権相談

12月4~10日は人権週間です。法務局と人権擁護委員(協議会)では、正しい人権の考えを広め、豊かな人間関係を築くため、みなさんの理解と協力を呼び掛けています。

なお、人権についてお悩みの方を対象に次のとおり特設人権相談が開かれます。

〈日時〉12月12・18日(金・木)  
午前9~12時

〈場所〉12日 市農協小山支所  
18日 阪谷公民館

## ◆郵便物は早目に

年末は郵便物が増え、大変混雑します。小包はしっかりと包装して、遅くとも15日までに出すように心掛けて下さい。

また、年賀状の取り扱いには15日からです。市内・県内・県外別に束ねて、早目に出しましょう。

あて名・郵便番号は、はっきりと正確に。

## ◆無料法律相談

法律問題でお悩みの方を対象に、次のとおり無料法律相談が開かれます。弁護士が相談に当たり、秘密は固く守られます。

〈日時〉12月11日(木) 午前10時~午後3時

〈場所〉市役所(消防署講堂)

## ◆進学ローンの案内

国民金融公庫では次のように「進学ローン」を取り扱います。

高校・高専・大学等に進学する際の必要な資金にご利用下さい。

〈融資額〉1世帯当たり50万円以内  
〈融資期間〉高校3年以内、大学4年以内

〈利息〉年9.1%(利用時の金利)  
〈保証人〉1人以上(保証基金を利用する場合は不要)

〈返済方法〉毎月元利均等返済  
〈取扱期間〉56年1~4月末日まで  
詳しくは各銀行・公庫・信用金庫信用組合・金融機関の窓口でご相談下さい。

## 人口は4万1,901人

### 国勢調査の結果

みなさんのご協力で、国勢調査が無事終わり、この程その集計が出来ましたので、主な内容をお知らせします。

大野市の人口は、男2万52人、女2万1,849人で計4万1,901人です。

前回(昭和50年実施、4万1,918人)に比べて、17人少なくなっています。しかし前回の調査には真名川ダム工事の従事者が100人余り入っていましたので、それを除くとわずかですが増えていることとなります。一方、世帯数は1万467戸で、前回(1万306戸)より161戸多くなっています。

1世帯当たりの人数は約4人となり、依然として核家族化の傾向にあることが伺えます。

## 年末・年始の交通安全

### お年寄りを事故から守ろう

12月11日~1月10日の1カ月、年末・年始の交通安全市民運動が展開されます。

この時期は飲酒の機会が多くなるうえ、師走のあわただしさや正月の解放感、雪によるスリップなど危険な要素がたくさんあります。



運転者は「なくそう飲酒・暴走運転」「ゆとりゆずり合いでゆっくり走ろう」を合言葉に、交通安全に努めましょう。

大野警察署管内での11月10日現在の交通事故は107件。死者2人、負傷者159人、物損75件です。死者2人は最近起きた事故によるもので、特にお年寄りの事故が目立ちます。

これ以上悲しい事故を出さないため、家族みんなで注意し合い、事故のない明るい年末・年始を過ごしましょう。

# 市民カレンダー

12月10日～12月24日

10水	人権・行政相談 精神衛生相談	10.00～15.00 14.00～16.00	上庄公民館 大野保健所	少年相談 結婚相談	9.00～12.00 10.00～15.00	市役所 有終会館
11木	心配ごと相談 明るい選挙推進大会 インフルエンザ	9.00～12.00 10.00～16.00 13.30～14.00	市役所 市民会館 上庄小学校	少年相談 法律相談 法律相談	9.00～12.00 9.00～12.00 13.00～16.00	市役所 市役所 商工会議所
12金	特設人権相談	9.00～12.00	市農協小山支所	<b>今月の納税</b> 固定資産税 第3期分 国民年金保険料 第3期分 25日までに納めて下さい。		
13土						
14日	休日当番医 内科 伊阪医院 外科 鳥山医院					
15月	愛育会育児相談 人権相談	9.00～11.30 13.00～16.00	下庄公民館 大野公民館	金融相談	13.00～16.00	商工会議所
16火	社会保険年金相談 インフルエンザ	10.00～15.00 13.30～14.30	織物工業組合 大野公民館	少年相談 1歳半児検診	9.00～12.00 13.00～14.00	市役所 有終会館
17水	少年相談 結婚相談	9.00～12.00 10.00～15.00	市役所 有終会館	経営相談 麻しん	13.00～16.00 13.30～14.30	商工会議所 医師会館
18木	心配ごと相談 交通事故相談 無医地区診療	9.00～12.00 10.00～16.00 13.00～15.00	市役所 市役所 下打波集会場	少年相談 特設人権相談 3歳児検診	9.00～12.00 9.00～12.00 13.00～14.30	市役所 阪谷公民館 大野保健所
19金						
20土	行政相談	10.00～15.00	富田公民館	農業結婚相談	13.00～16.00	有終会館
21日	家庭の日			休日当番医 内科 弘川医院 外科		
22月	冬 至 満 月	労務相談	13.00～16.00	商工会議所		
23火	少年相談	9.00～12.00	市役所			
24水	少年相談	9.00～12.00	市役所	結婚相談	10.00～15.00	有終会館

風見鶏  
 啄木ではないが、ガラス窓越しにさす日だまりの中で、じつと手を見る。手には人それぞれの人生が刻み込まれているように思う。そしてこの一年の越し方の泣き笑いも秘められていよう▼十二月と言えばポーン。ここにも泣き笑いがあるが、ともかくにも、これをかせぎ出したのはこの手なのだ。一家の大黒柱である人の手を家中で思いやり、温かく包んであげてほしい▼人間はとかく自分本位になり勝ちで、他人を思いやる気持ちが置き去りになる。セカセカした十二月はなおさらだ。十二月を年の極(きわ)まる月、極月(ごくげつ)とも言う。しかし心だけは極まらずゆとりを持ちたい▼ゆとりと言えば、ことしの四月から小学校で「ゆとりの時間」を持つようになった。誠に結構なことだ。しかし問題はこの時間をどのように活用するか▼門外漢で恐縮だが、この時間を利用して「福祉」という事を取りあげてみたらどうだろうか。来年は国際障害者年。心身に障害のある人も健康な人も、共に助け合っていく、お年寄りをいたわる、こんな心情は子供のころから養っていくべきではないだろうか▼歳末の店頭には豊富に品物があふれ、クリスマスツリーはきらびやかに光る。だが世界のどこかで飢えに苦しむ子供がたくさんいる。そういう人たちにも思いをはせたい▼やがて除夜の鐘も鳴る。鐘の音色が去年と同じであっていいはずはない。(D生)

発行 福井県大野市 編集 秘書広報課  
 (電話 01111) 印刷 柳松浦印刷